

# 現代日本語の「～的」について

—雑誌『中央公論』1992年11月号の場合—

南雲 千歌

## 1 はじめに

「魅力的」「美的」「歴史的」…今日、私達は生活のなかでいろいろな、そして数多くの「～的」という言葉を使用している。「～的」という表現は、それを付けてしまえば意見がもっともらしく聞こえたり、おさまりがついた感じになるせいか、いろいろな単語とって活躍している。人はどのような時にどのような単語に「～的」をつけて使用しているのだろうか。

「～的」の起源については、磯辺弥一郎氏が「国文に及ぼせる英語の感化」（1906）という論文の中で、以下のように記している。

「…又形容詞や副詞に的を附することも明治の新語法で其以前の文にはない。……或日寄合って雑談が始まった、其時一人が不図かやうな事を言い出した。Systemを組織と訳するはよいが、Systematicが訳し悪くい、ticという後加へは、小説の的の字と声が似て居る、何と組織的と訳したらどうであらうと言ふと、皆々それは妙だとて一時凌ぎに的の字を当がた、最初は何となく変に思ったが後には何とも思はず、人も亦承知するやうに爲った。…」（磯辺、1906：10）

この言によると、「～的」という語は明治の新造語法であり、しかもその語源が英語の“～tic”の“tic”と音が似ているというところから来たようである。今日、私達はテレビを観ても雑誌を読んでも「～的」という語にあたる、という時代に生きているが、意外にもこの「～的」の歴史は短いものであり、しかも何とも微笑ましいエピソードをもって誕生している。誕生してからわずか百年の間に現代語として多用されているようになったこの「的」という一字が、どのように発生し、広がり、使用されているかを探ることは現代の日本語の特質をとらえることにつながっていくと思われる。

「～的」の使用状況を把握するためには、1)「～的」の発生期の状況、2)「～的」が普及する要因となっている性質、3)現在の「～的」の使用実態の3つの視点が考えられる。

「～的」の発生期の状況については、山田巖氏が昭和30年に「発生期における的ということば」の中で明らかにしている。それによると明治十年前後でも「～的」という語は使用されていたがこれらは中国の俗文で使用される用法であったり、人名の一部を取って「的」を付けて用いる用法でいずれも現在の用法とは異なるもので(注1)、現在の用法で「～的」が使用されはじめたのは明治十年代の西周、中村正直といった当時の学者層による論文や学術的な翻訳書といった硬い文体の文章の中でであった。そして学術用語集『哲学字彙』に登録されたことが契機となって研究者に広まり、さらに明治十年代末には小説や評論などの分野で広く使用されるようになった(山田、1961:56-61)。

また、「～的」が現代語で多用されるようになった要因について、山田氏は日本語の本質的な面から「日本語に本来の形容詞が乏しいという事情が底流にある」ことと、「～的」という語の持つ機能面から「接尾的要素としての漢語の生産力が大きい」ことを述べている(山田、1961:61)。また藤居信雄氏は、「～的」の氾濫は「的」の持つ多義あいまいさによると指摘している(藤居、1957:72)。さらに「～的」の使用実態については、国立国語研究所が『総合雑誌の用語 前編』の中で接尾語としての「～的」の使用頻度の高さを報告しているが(国研、1957:64)、「～的」と話題との関係、「～的」の語種や表記との関係、語の意味との関係などについては未調査である。そこで本稿では1冊の雑誌から「～的」という語を全て取出しこれを掲載記事の専門分野、語種、表記、語基の意味、の観点から考察し、現代の「～的」の使用状況を明らかにしたい。

## 2 調査の対象

「的」の使用状況を探るにあたって、調査したのは『中央公論』の1992年11月号である。その理由は、現代の日常生活における「～的」をとらえるにはいろいろなテーマが掲載されかつ専門書よりも一般向きとされる雑誌の方が適当であると思われたからである。そして『雑誌用語の変遷』(国立国語研究所、1987)にも取り上げられている『中央公論』を調査対象として、特に1992年11月号1冊に焦点を絞って、この中から「～的」という語をすべて採集しこれらを分析することとする。11月号を選んだことに特別な意図はない。

## 3 「～的」の使用と専門分野との関係

雑誌『中央公論』の掲載記事の専門分野をこの雑誌の編集方針による分野分類に基づい

て整理したところ、1992年11月号1冊には政治・経済・文化一般・社会問題・歴史伝記・文芸活動・医学健康・広告の8分野があった。専門分野とそれに属する記事のタイトルは以下の通りである。

- A 政治
  - ・政治浄化には強力な法的規制だけ
  - ・いますぐ「土地本省」をつくれ
  - ・宮沢首相の提唱アジア安保に疑問
  - ・冷戦後最初の大統領は何をすべき
  - ・イスラム主義の台頭と西側の選択
  - ・イタリアの政治的混乱と選挙制度
  - ・政治天気図      ・中国の挑戦      ・冷戦後の国際謀略ゲーム
- B 経済
  - ・バブル後のシナリオが見えてこない
  - ・おやじ宗一郎だってわかってくれる
  - ・経済見通し” 懺悔”、されど春遠からじ
  - ・安土敏「さらば、法人優遇社会」
  - ・カリフォルニア米の秋      ・東欧に資本主義を教える新華僑
- C 文化一般
  - ・クリントンの生まれた町      ・ホットライン（投書欄）
  - ・名門パブは第二の「わが家」・砂漠と孤独
  - ・貝仏記      ・木の葉髪
  - ・こんなにも違う中国人と日本人
  - ・笑うせえるすまん      ・「キムキムランド」訪問記
  - ・「問題集」をつくる努力から・固有名詞の形容詞化
  - ・中公読書室
  - ・完璧なダイナミックスで歌いあて
  - ・喫煙という儀式      ・『花に問え』を推す
  - ・月皓々ー七十歳の受賞      ・人物交差点
  - ・この世とあの世      ・燭を望む
  - ・「日本経済の構想」を推す      ・示唆に富む二つの著書
  - ・人物      ・今月の言葉
- D 社会問題
  - ・80年代を襲った六大変化      ・ボーダレス時代のボーダー
  - ・ヤツラは頼もしい      ・PKO部隊 出陣の朝
  - ・最も危険な国・・・旧ソ連13%日本31%
  - ・常温超伝導への挑戦      ・普後均一ゲームの終わり
  - ・東京大停電

- ・結婚への”常識”の崩壊と結婚へのこだわり
- E 歴史伝記 ・『フォーリン・アフェアーズ』の七十年  
・伊藤周左エ門
- F 文芸活動 ・三十一文字のパレット ・道頓堀の雨に別れて以来なり
- G 医学健康 ・治ってたまるか老人ボケが
- H 広告

まず、上のように分類した専門分野の記事が占めるページ数を調べ、1冊の中での分野の割合を調べた。結果は表1の通りである。分野としては政治、文化一般、社会問題が大きなページ数を占めている。法律、思想哲学に関する記事はない。

表1：各専門分野のページ数とその割合

専門分野 ページ数	政治	経済	文化 一般	社会 問題	歴史 伝記	文芸 活動	医学 健康	広告	計
ページ数	118	34	159	70	25	13	10	27	456
ページ数 (%)	25.9	7.5	34.9	15.3	5.5	2.8	2.2	5.9	100

そこで、専門分野別の「～的」の使用実態を見ていく。まず、各分野で使用された「～的」を50音順に並べると表2のようになる。

表2：『中央公論』で使用された「～的」の分野別五十音順語彙表（数字は使用度数）

#### A 政治

アジア的	1	一時的	3	開放的	2	客観的	1
圧倒的	7	一般的	2	外交的	2	救済的	1
安定的	7	一方的	3	楽観的	2	究極的	1
イスラム主義的	1	永続的	1	危機的	1	距離的	1
イスラム的	6	汚職的	1	基本的	6	協調的	3
イタリア的	1	横断的	1	機械的	2	強制的	1
イデオロギー的	1	欧米的	1	機能的	1	教義的	1
意識的	2	可及的	1	記念碑的	1	近代的	1
意図的	3	過激主義的	1	儀礼的	1	金銭的	1
一義的	1	画期的	1	疑似論理的	1	具体的	6

軍事的	7	社会的	3	対決的	1	非軍事的	7
形式的	2	主観的	1	高楊枝的	1	非効率的	1
経済的	12	主導的	1	単発的	1	非暴力的	1
決定的	2	儒教的	1	短期的	3	飛躍的	2
結果的	1	周辺の	1	知的	1	必然的	3
建設的	1	宗教的	2	地域的	7	表面的	1
現実的	4	集中的	1	地政学的	1	普遍的	6
個人的	7	消極的	1	中心的	2	ファシスト的	1
古典的	1	情緒的	1	中長期的	2	武士道の	1
固定的	1	心理的	2	抽象的	2	部分的	1
孤立主義的	2	進歩的	1	超党派的	1	副次的	1
公的	16	人為的	1	長期的	11	物質的	3
効果的	10	人間的	1	直接的	3	文化的	4
好意的	2	人的	3	敵対的	2	平均的	1
恒常的	2	垂直的	1	徹底的	2	平和的	2
攻撃的	1	スケジュール的	1	典型的	1	保守的	1
構造的	1	世界的	3	伝統的	5	包括的	1
合理的	7	世俗的	2	党派的	1	法的	4
国際的	10	制限的	1	同情的	1	法律的	1
国民的	1	政治・経済的	1	道德的	5	暴力的	2
最終的	12	政治的	36	独断的	1	本格的	4
暫定的	1	精神的	6	日常的	1	本質的	3
指揮者の	1	積極的	12	能率的	1	民族的	1
支配的	2	接ぎ木の	1	抜本的	5	野心的	3
事後の	1	絶対的	2	反イスラム的	4	躍動的	2
時期的	1	絶望的	1	反ロシア的	1	ヤミ献金の	1
自覚的	1	戦術的	2	反倫理的	1	理性的	1
自発的	2	戦略的	4	犯罪的	1	歴史的	11
実質的	10	全域的	5	否定的	2	論理的	2
実体的	2	全体主義的	1	悲観的	1		
実体法的	1	全面的	1	悲劇的	1	異なり語数	171
実務的	4	総体的	2	批判的	5	延べ語数	474
社会経済的	2	対外的	1	比較的	2		

## B 經濟

安定的	1	高度成長的	1	制度的	1	平均的	2
一時的	2	國際的	1	政策的	1	本質的	1
画一的	1	最終的	1	相對的	1	魅力的	1
基本的	2	シェア争いの	1	対照的	2	良心的	1
技術的	2	資本主義的	3	大々の	1	歴史的	1
經濟的	4	持續的	1	伝統的	1		
ゲリラ的	1	自主的	2	薄利多売的	1	異なり語数	35
古典的	1	循環的	3	比較的	3	延べ語数	53
公的	1	人数的	1	ピラミッド的	2		
構造的	2	世界的	2	複合的	1		

## C 文化一般

圧倒的	3	儀礼的	1	恒常的	1	宗教的	5
デオロギー的	1	技術的	1	構造的	1	重層的	1
図的	1	客観的	3	肯定的	1	商人的	3
緯度の	2	驚異的	1	行動的	1	小説的	1
一般的	4	均質的	2	合理的	1	情緒的	1
一方的	2	近代的	3	國際的	10	職人的	4
印象的	2	具体的	6	今日の	1	心情的	3
運動学的	1	空間的	2	砂漠的	1	神話的	2
運動感覺的	1	偶然的	1	最終的	3	進歩的	1
画期的	2	兄弟的	1	財政的	1	人種的	1
怪物的	1	形容詞的	1	始原的	2	人的	1
概念的	2	經驗的	1	思想的	1	隨筆的	1
隔世遺伝的	1	經濟的	5	私的	2	世界史的	1
カリスマ的	2	劇的	1	詩的	1	世界的	4
起的	1	決定的	1	事後的	1	性格的	2
官能的	1	原始的	1	自覺的	1	性的	1
感覺的	2	現實的	1	自然科学的	1	政策的	1
觀念的	1	個人的	3	自由主義的	1	政治・軍事的	1
基礎的	1	個性的	1	実証的	1	政治的	2
基本的	9	固定的	1	社会的	10	生態学的	1
記念碑的	1	好戰的	1	社交的	1	精神運動的	1

精神的	1	地域的	1	特権的	1	文化交流的	1
積極的	6	地球的	1	内発的	2	文学的	1
絶望的	1	地質学的	2	日本人的	2	ヘラクレス的	1
專制的	1	中・長期的	2	日本の	3	法律論的	1
戦闘的	1	中央集権的	1	爆發的	1	暴力的	1
旋律的	1	中間的	1	悲劇的	1	牧歌的	5
前時代の	1	中国的	3	批判的	1	本格的	4
全面的	1	中長期的	1	比較的	1	本質的	2
相對的	1	長期的	3	非友好的	3	民族的	2
総合的	2	直観的	3	飛躍的	1	薬理学的	1
莊嚴的	1	直接的	1	普遍的	1	樂觀的	1
即物的	1	定期的	1	封建的	1	優先的	1
大々の	2	定形的	1	風土的	1	歴史的	8
継続的	1	伝說的	1	複合的	1		
知覚心理的	1	伝統的	1	仏教的	2	異なり語数	146
知的	7	動的	1	物質的	1	延べ語数	266

#### D 社会問題

圧倒的	1	具体的	5	最終的	2	人類学的	2
意識的	1	軍事的	1	市民的	1	世界的	1
意図的	1	形式的	2	死活的	1	政治・経済・	
一般的	1	經濟的	7	私的	1	文化・社会的	1
印象的	2	継続的	1	時間的	1	政治・經濟的	1
加速的	1	劇的	2	自動的	1	政治的	12
階級的	1	決定的	4	実験的	2	精力的	1
活動的	1	結果的	1	実質的	2	西洋的	1
感傷的	1	建設的	1	周期的	1	積極的	2
觀念的	1	現實的	1	宗教的	1	先進的	1
基礎的	1	効果的	1	集中的	1	全域的	1
基本的	6	好意的	1	将来的	2	全国的	1
記録的	1	恒久的	1	衝擊的	1	基本的	1
技術的	1	肯定的	1	常識的	5	全般的	5
急進的	1	合法的	1	人口動態的	2	全面的	5
近視眼的	2	國際的	1	人的	1	多民族的	1

短期的	2	伝統的	4	表面的	2	民主的	1
地域的	1	同時進行の	1	物質主義的	1	民族的	2
中核的	1	道德的	1	物理的	1	優先的	1
中心的	1	発作的	1	文化的	2	有機的	1
中長期的	1	抜本的	1	米国的	1	楽観的	2
中立的	1	反イスラーム的	1	保護主義的	3	リベルタリアンの	2
抽象的	1	否定的	3	法実的	1	例外的	1
長期的	2	悲劇的	1	法的	2	歴史的	4
定期的	1	批判的	2	法律的	3	_____	
データの	1	非好意的	1	ボスの	1	異なり語数	108
徹底的	2	非友好的	1	本格的	2	延べ語数	187
典型的	1	飛躍的	2	本質的	2		

#### E 歴史伝記

意図的	1	古典的	1	全般的	1	道德的	1
学問的	1	効果的	3	相互的	1	抜本的	2
楽観的	2	好意的	1	妥協的	1	反外交的	1
基本的	3	攻撃的	1	対照的	1	悲劇的	1
記念碑的	1	構造的	1	短期的	5	必然的	1
協調的	1	国家的	1	段階的	1	保守的	1
具体的	2	国際的	12	知的	2	本質的	2
偶発的	3	最終的	5	地域的	2	例外的	3
軍事的	7	消極的	2	地世学的	1	歴史的	1
啓蒙的	1	死活的	2	中期的	2	論理的	2
経済的	2	世界的	1	中心的	1	_____	
決定的	2	政治的	4	長期的	10	異なり語数	52
建設的	1	積極的	6	帝国主義的	3	延べ語数	123
現実的	2	戦略的	6	道義的	1		

#### F・文芸活動

大阪の	1	精神的	1	_____	
開明的	1	定期的	1	異なり語数	6
客観的	1	物理的	1	延べ語数	6



## G 医学健康

圧倒的	1	根本的	1	神経症的	1	_____	
一時的	1	実質的	1	積極的	2	異なり語数	15
一般的	2	社会的	1	反社会的	1	延べ語数	21
客観的	2	集中的	2	比較的	1		
好意的	1	消極的	3	病的	1		

## H・広告

悪魔的	1	構成主義的	1	政治的	2	法的	1
基本的	2	国際的	1	専門的	3	歴史的	1
機能主義的	1	根本的	1	代表的	1	_____	
共時的	1	刺激的	1	徹底的	1	異なり語数	23
具体的	2	指導的	1	範型論的	1	延べ語数	28
劇的	1	実証的	1	非友好的	1		
古典的	1	世界的	1	巫術的	1		

以上の各専門分野で使用された「～的」を、語数とページ数の関係から見ると表3のようになる。

表3：各専門分野と「～的」の語数の関係

専門分野 語数	政治	経済	文化 一般	社会 問題	歴史 伝記	文芸 活動	医学 健康	広告	計
延べ語数	474	53	266	187	123	6	21	28	1158
異なり語数	171	35	159	108	52	6	15	23	347
ページ数	118	34	159	70	25	13	10	27	456
延べ語数/ページ数	4.0	1.5	1.7	2.7	4.9	0.5	2.1	1.0	2.5
異なり語数/ページ数	1.4	1.0	1.0	1.6	2.0	0.5	1.5	0.9	0.8

延べ語数から一冊の雑誌の中での1ページあたりの平均使用語数を見ると、全体では2.5語であった。

延べ語数で各分野の使用率を高い方から見ていくと、第1位は歴史伝記で4.9語、第2位が政治の4.0語であった。第3位が社会問題で2.7語、以下医学健康が2.1語、文化一般が1.7語、経済が1.5語、広告が1.0語、文芸活動が0.5語であった。つまり、歴史伝記、政

治は圧倒的に「～的」の使用が多く、ページ数としては第2位を占める文化一般が平均使用語数は2.7語、社会問題と医療健康は2.5語前後で平均的である。経済関係は1.5語で少ない。広告、文芸活動では平均使用語数が1.0語以下で少ない。以上のように、掲載記事の内容と「～的」の使用語数にはなんらかの関係が見られる。

また、異なり語数で1ページあたりの平均使用語数を見ると全体では0.8語であった。平均使用語数が多い第1位は歴史伝記で2.0語、第2位が社会問題で1.6語、第3位が医学健康で1.5語、次いで政治の1.4語、経済、文化一般の1.0語、広告の0.9語、文芸活動の0.5語であった。延べ語数と異なり語数との関係を比べると、政治では延べ語数に比べると異なり語数が延べ語数の約三分の一と少なく、歴史伝記も約二分の一である。これに対して経済、医学健康、広告は延べ語数と異なり語数とがかなり近い数で文芸活動では同数である。掲載分野と「～的」の単語の使用度数との間に関連が見られる。

#### 4 「～的」の前にくる語の種類と表記

そこで、「的」の前にどのような言葉があらわれるかについて語種と表記の面から考察する。

##### 1) 語種

まず「的」の前にくる語の語種を分類すると表4の通りである。

表4：的の前につく語の語種 (表内の数字は異なり語数)

語種 \ 分野	政治	経済	文化一般	社会問題	歴史伝記	文芸活動	医学健康	広告	合計
漢語	159	32	143	104	52	5	15	23	327
和語	1	0	0	0	0	1	0	0	2
和語+漢語	2	0	0	0	0	0	0	0	2
外来語	6	2	3	3	0	0	0	0	13
外来語+和語	0	1	0	0	0	0	0	0	1
外来語+漢語	1	0	0	0	0	0	0	0	1
漢語+外来語	2	0	0	1	0	0	0	0	3
合計	171	35	146	108	52	6	15	23	347

これを百分率で表すと表5のようになる。

表5：「的」の前につく語の語種

(表内の数字は%)

語種 \ 分野	政治	経済	文化一般	社会問題	歴史伝記	文芸活動	医学健康	広告	合計
漢語	93.0	91.4	98.0	96.3	100	83.3	100	100	93.6
和語	0.6	0	0	0	0	16.7	0	0	0.6
和語+漢語	1.2	0	0	0	0	0	0	0	0.6
外来語	3.4	5.7	2.1	2.7	0	0	0	0	3.9
外来語+和語	0	2.9	0	0	0	0	0	0	0.2
外来語+漢語	0.6	0	0	0	0	0	0	0	0.2
漢語+外来語	1.2	0	0	1.0	0	0	0	0	0.9
合 計	100	100	100	100	100	100	100	100	100

「的」の前につく語は漢語が全体で93.6%と圧倒的に多く見られる。和語は「接ぎ木」「大阪」の2語のみであった。和語と漢語との組合せは「ヤミ献金」と「高楊枝」の2語のみで、いずれも「和語+漢語」の順で、「漢語+和語」はない。外来語は和語よりは用例が多く、「アジア」「イスラム」「イタリア」「イデオロギー」「カリスマ」「ゲリラ」「スケジュール」「データ」「ピラミッド」「ファシスト」「ヘラクレス」「ボス」「リベルタリアン」の13語である。また、外来語と漢語との組合せでは「外来語+和語」「外来語+漢語」「漢語+外来語」の組合せが見られた。「外来語+和語」は「シェア争い」、「外来語+漢語」は「イスラム主義」の1例で、「漢語+外来語」では「反イスラム」のようにすべて「反」に外来語がつくものであった。語種別に分野を見ていくと、

- ・ 漢語のみを使用……………歴史伝記、医学健康、広告
  - ・ 漢語、和語を使用……………文芸活動
  - ・ 漢語、外来語を使用……………文化一般
  - ・ 漢語、外来語、外来語+和語、漢語+外来語を使用……………経済、社会問題
  - ・ 漢語、和語、和語+漢語、外来語、外来語+漢語、漢語+外来語を使用……………政治
- となり、各分野が使用語種によって特徴づけられている。

以上、「的」の前につく語の語種は、漢語の場合がもっとも多く、次いで外来語、外来語と漢語との組合せ、和語と漢語との組合せの順で少なくなり、最も少ないのが和語である。

そこで、漢語以外の語種を使用する分野を見ると、

- ・ 文芸活動……………和語      大阪
- ・ 文化一般……………外来語    イデオロギー、カリスマ、ヘラクレス

- ・経済、社会問題…外来語 ゲリラ、ピラミッド、データ、ボス、リベルタリアン  
混種語 シェア争い、反イスラーム
- ・政治……………和語 接ぎ木  
外来語 アジア、イスラム、イタリア、イデオロギー、スケジュール、ファシスト  
混種語 ヤミ献金、高楊枝、イスラム主義、反イスラム、反ロシア

となり、それぞれの分野の特色を反映している。

そこで、どの分野でも使用される語種である漢語についてさらに細かくその語構成を見ると、表6のようになる。

全体的に見ると、漢語の中でも2字漢語がもっとも使用されている。中には「常識」という2字漢語に“ ”をつけ、「常識」のように特別な意味合いを持たせているものもある。次いで3字漢語、4字漢語、1字漢語の順になっている。3字漢語は2字漢語の前後に1字漢語がつくという語構成をとっており、全体では「1字漢語＋2字漢語」が12語、「2字漢語＋1字漢語」が17語と両者が近接した語数である。中でも「非」「反」といった否定を表す1字漢語と2字漢語との組合せは異なり語数で8語あり「1字漢語＋2字漢語」の中での割合が高い。

表6：的の前につく漢語の語構成 (表内の数字は異なり語数)

専門分野 語構成	政治	経済	文化 一般	社会 問題	歴史 伝記	文芸 活動	医学 健康	広告	合計
1字漢語	5	1	9	4	0	0	1	2	10
2字漢語	142	28	115	94	48	5	12	17	257
3字漢語	5	0	12	6	3	0	2	2	30
4字漢語	6	3	8	4	1	0	0	2	23
8字漢語	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合 計	161	34	143	109	52	5	15	23	325

3字漢語は、「1字漢語＋2字漢語」と「2字漢語＋1字漢語」との組合せから成っており、その用例は次のとおりである。

1字漢語＋2字漢語…前時代、多民族、中長期、超党派、反外交、反社会、反倫理、非軍事、非効率、非好意、非暴力、非友好

2字漢語＋1字漢語…運動学、記念碑、近視眼、形容詞、指揮者、実体法、神経症、人

類学、世界史、生態学、地質学、地世学、地政学、日本人、範型論、武士道、法律論、薬理学

このように、「1字漢語+2字漢語」では「非」「反」といった否定を表す1字漢語が12語中8語使用されており、2字漢語の前に接続して「～的」に使用される1字漢語としての特色を出している。「2字漢語+1字漢語」は「学」が17語中7語使用されており、2字漢語の後に接続して使用される特徴的な1字漢語となっている。使用されている異なり語数は2字漢語の前に接続するものよりも後に付くものの方が多い。

3字漢語についてさらにその語構成を見ると表7のようになる。政治、社会問題、医学健康、広告では「1字漢語+2字漢語」の方が「2字漢語+1字漢語」よりも異なり語数が多い、または同数であるのに対して、歴史伝記、文化一般では「2字漢語+1字漢語」の方が多い。文化一般では「中・長期的」のように「・」で結ばれたものが見られた。

表7：3字漢語の語構成 (表内の数字は異なり語数)

語構成 \ 専門分野	政治	経済	歴史伝記	社会問題	医学健康	文芸活動	文化一般	広告	合計
1字+2字 漢語	5	0	1	4	1	0	3	1	12
2字+1字 漢語	5	0	2	2	1	0	9	1	18
合 計	5	0	3	6	2	0	11	2	30

4字漢語はすべて「孤立+主義」「中央+集権」のように2字漢語と2字漢語との組合せによって語が構成されている。政治では「政治・経済」のように2語の漢語が「・」で結ばれている用例がある。8字漢語は社会問題の分野で見られた「政治・経済・文化・社会的」の1例で2字の漢語が「・」で結ばれている。表6を百分率で示すと表8のようになる。

各語構成で分野を見ると、1字漢語をもっとも使用しているのは広告で8.7%、第2位が医学健康で6.7%、第3位が文化一般の6.3%、そして社会問題の3.7%、政治の3.1%、経済の2.9%となり、歴史伝記、文芸活動では使用されていない。

2字漢語は全分野においてもっとも使用されており、第1位は文芸活動で100%、第2位は歴史伝記で92.3%、第3位は政治で88.2%、第4位は社会問題で86.2%、次いで経済の82.4%、文化一般の80.4%、医学健康の80.0%、広告の73.9%であった。

3字漢語は医学健康でもっとも使用され13.3%で、第2位が広告で8.7%、第3位が文化一般で8.4%、第4位が歴史伝記で5.8%、次いで社会問題で4.2%、政治が3.1%で、経済と文芸活動では0%であった。

表 8 : 各分野別に見た漢語の語構成の割合

(表内の数字は%)

専門分野 語構成	政治	経済	文化 一般	社会 問題	歴史 伝記	文芸 活動	医学 健康	広告
1 字漢語	3.1	2.9	6.3	3.7	0	0	6.7	8.7
2 字漢語	88.2	82.4	80.4	86.2	92.3	100	80.0	73.9
3 字漢語	3.1	0	8.4	4.2	5.8	0	13.3	8.7
4 字漢語	3.7	8.8	5.6	3.7	1.9	0	0	8.7
8 字漢語	0	0	0	0.9	0	0	0	0
合計	100	100	100	100	100	100	100	100

4 字漢語は、経済が8.8%ともっとも使用しており、第 2 位は広告で8.7%、第 3 位が文化一般で5.6%、次いで政治、社会問題で3.7%、歴史伝記で1.9%となり、文芸活動、医学健康では使用されていない。

8 字漢語は、社会問題のみで使用されその使用率は0.9%とわずかであった。

このように、漢語の語構成も各分野の特徴を反映している。つまり、「法的」「劇的」といった「1 字漢語+的」は広告の特徴を反映し、歴史伝記、文芸活動では1 字漢語が使用されないという面でこれらの専門分野の特徴を反映する。2 字漢語はどの分野でもよく使用されるが、特に文芸活動では100%使用されている。「神経症的」「反社会的」といった 3 字漢語は医学健康や文化一般の特徴を反映し、経済や文芸活動では 3 字漢語が使用されないという面でこれらの分野の特徴を反映する。同様に 4 字漢語は広告、経済の特徴を反映し、文芸活動や医学健康では使用されないという面でその特徴を反映する。8 字漢語では社会問題の特徴を反映している。

そこで、語構成から専門分野を見ると次のようになる。

2 字漢語のみ使用……………文芸活動  
 1 字漢語、2 字漢語、3 字漢語使用……………医学健康  
 1 字漢語、2 字漢語、4 字漢語使用……………経済  
 2 字漢語、3 字漢語、4 字漢語使用……………歴史伝記  
 1 字漢語、2 字漢語、3 字漢語、4 字漢語使用……………政治、広告、文化一般  
 1 字漢語、2 字漢語、3 字漢語、4 字漢語、8 字漢語使用……………社会問題

すなわち、文芸活動では 2 字漢語しか使用されていない。医学健康では 4 字漢語が、経済では 3 字漢語が使用されない。歴史伝記では 1 字漢語が使用されていない。政治、文化一般、広告は 1 字漢語、2 字漢語、3 字漢語、4 字漢語が、社会問題では 1 字漢語、2 字

漢語、3字漢語、4字漢語、8字漢語が使用されている。

## 2) 表記

そこで、以上の語種がどのように表記されて「的」の前についているかを見ると表9のようになる。

表9：的の前につく語の表記（表内の数字は異なり語数）

語 種	専門分野 表記	政治	経済	文化 一般	社会 問題	歴史 伝記	文芸 活動	医学 健康	広告	合計
漢 語	漢字	159	34	143	104	52	5	15	23	325
和 語	漢字	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	ひらがな+漢字	1	0	0	0	0	0	0	0	1
外来語	カタカナ	6	2	3	3	0	0	0	0	14
混 種 語	漢字	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	カタカナ+漢字	4	0	0	1	0	0	0	0	5
	カタカナ+漢字+ひらがな	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計		171	37	143	108	52	6	15	20	347

まず、語種の視点から見ると、漢語はすべて漢字で表記されている。和語は「接ぎ木」と「大阪」の2例があり、いずれもひらがなと漢字の組合せ、または漢字で表記されている。外来語はすべてカタカナで表記されている。混種語には和語と漢語、外来語と漢語の組み合わせがあったが、和語と漢語の組合せである「ヤミ献金」「高楊枝」はカタカナと漢字、または漢字で表記され、ひらがなのみでは表記されていない。外来語と漢語の場合もカタカナと漢語との組合せによって表記されている。「主義」「献金」といった漢語が後につくもののほかに、「反」という1字漢語がつくものがあった。以上から

漢語の表記……………すべて漢字

和語の表記……………漢字、ひらがな+漢字

外来語の表記……………カタカナ

混種語（外来語+和語）の表記……………カタカナ+漢字+ひらがな

混種語（和語+漢語）の表記……………漢字、カタカナ+漢字

混種語（外来語+漢語、漢語+外来語）の表記……………カタカナ+漢字

であり、語種によって表記に特徴が出る。

また、専門分野別に見ると、どの分野も共通して漢字による表記のものが最も多く、ひらがなのみの表記はない。政治、経済、社会問題、文化一般ではカタカナ表記も見られるが、歴史伝記、医療健康、文芸活動、広告ではカタカナ表記は見られない。政治では他に「ひらがな+漢字」（「接ぎ木」）が見られた。

## 5 「～的」の前につく語と専門分野との関係

ここまで、「～的」と分野との関係、「～的」の前につく語を語構成と表記の点から見、  
「～的」がよく使用される分野、使用されない分野があること、漢語以外は分野によって使用状況に特色が出ること、カタカナも同様に分野によって使用状況に差が出る  
ことがわかった。そこで、「～的」が各分野の話題を特色づける語を明らかにしてみよう。  
ここでは「～的」の前につく語の意味と使用度数に着目して、各専門分野の語を使用度数  
順に並べかえると表10のようになる。

表10：「～的」の前につく語の分野別使用度数順表（数字は使用度数）

### A 政治

36…政治的

16…公的

12…積極的、最終的、経済的

11…長期的、歴史的

10…国際的、効果的、実質的

7…合理的、圧倒的、軍事的、地域的、個人的、非軍事的、安定的、民主的

6…基本的、精神的、イスラム的、普遍的

5…全域的、伝統的、道德的、抜本的、批判的

4…実務的、戦略的、反イスラム的、文化的、法的、本格的、意図的、現実的

3…一時的、一方的、協調的、社会的、人的、世界的、直接的、必然的、物質的、本質的、  
野心的

2…意識的、一般的、開放的、外交的、楽観的、機械的、形式的、決定的、孤立主義的、  
恒常的、支配的、自動的、実体的、社会経済的、宗教的、心理的、世俗的、絶対的、  
戦術的、総体的、中心的、中長期的、抽象的、敵対的、徹底的、否定的、飛躍的、平  
和的、暴力的、躍動的、論理的

1…アジア的、イスラム主義的、イタリア的、イデオロギー的、スケジュール的、ファシ  
スト的、ヤミ献金の、一義的、永続的、汚職的、横断的、欧米的、可及的、過激主義



的、画期的、危機的、機能的、記念碑的、儀礼的、疑似論理的、客觀的、救済的、究極的、距離的、教義的、近代的、金錢的、結果的、建設的、古典的、固定的、好意的、攻撃的、構造的、高楊枝的、国民的、暫定的、指揮者の、事後的、時期的、自覺的、自発的、実体法的、主觀的、主導的、儒教的、周辺の、集中的、消極的、情緒的、進歩的、人為的、人間的、垂直的、超党派的、制限的、政治・經濟的、接ぎ木の、絶望的、全体主義的、全面的、対外的、対決的、単発的、知的、知政學的、党派的、同情的、独断的、日常的、能率的、反ロシア的、反論理的、犯罪的、悲觀的、悲劇的、比較的、非効率の、非暴力的、表面的、武士道の、部分的、副次的、平均的、保守的、包括的、法律的、民族的、有機的、理性的

## B 經濟

### 4 …經濟的

#### 3 …資本主義的、循環的、比較的

#### 2 …自主的、構造的、技術的、基本的、ピラミッド的、一時的、平均的、対照的、世界的

#### 1 …画一的、古典的、國際的、安定的、ゲリラ的、人数的、公的、シェア争いの、制度的、政策的、相對的、持續的、大々の、伝統的、薄利多売的、高度成長的、複合的、最終的、本質的、魅力的、良心的、歴史的

## C 文化一般

### 10…國際的、社会的

#### 9 …基本的

#### 8 …歴史的

#### 7 …知的

#### 6 …具體的、積極的

#### 5 …宗教的、經濟的、本格的

#### 4 …本質的、世界的、職人的、一般的

#### 3 …近代的、心情的、商人的、客觀的、中国的、長期的、直感的、日本の、非友好的、個人的、圧倒的、最終的

#### 2 …カリスマ的、緯度的、一方的、印象的、画期的、概念的、感覺的、均質的、空間的、始原的、私的、神話的、性的、政治的、総合的、内発的、日本人的、地質學的、中・長期的、仏教的、魅力的、民族的

#### 1 …イデオロギー的、ヘラクレス的、意図的、運動學的、運動感覺的、怪物的、隔世遺産的、樂觀的、喚起的、官能的、觀念的、基礎的、記念碑的、儀礼的、技術的、驚異的、偶然的、兄弟的、好戰的、恒常的、構造的、肯定的、行動的、合理的、今日の、砂漠

的、財政的、思想的、詩的、事後的、自覺的、自然科学的、自然主義的、実証的、社交的、重層的、小説的、情緒的、進歩的、人種の、人的、隨筆的、世界史的、性的、形容詞的、經驗的、劇的、決定的、固定的、精神運動的、精神的、絶望的、專制的、戰鬪的、旋律的、前時代的、全面的、相對的、莊嚴的、即物的、断続的、知覺心理的、地域的、地球的、中央集權的、中間的、中長期的、定期的、定形的、伝說的、伝統的、動的、特權的、爆發的、悲劇的、批判的、断続的、精神運動的、精神的、絶望的、專制的、戰鬪的、旋律的、前時代的、全面的、相對的、莊嚴的、即物的、断続的、知覺心理的、地域的、中央集權的、中間的、原始的、現實的、個性的、地球的、中長期的、定期的、定形的、伝說的、伝統的、動的、特權的、爆發的、悲劇的、批判的、比較的、飛躍的、普遍的、封建的、風土的、政策的、政治・軍事的、生態學的、複合的、物質的、文化交流的、文學的

#### D 社会問題

12…政治的

7…經濟的

6…基本的

5…全般的、具體的、全面的、常識的

4…伝統的、歴史的、決定的、法律的

3…保護主義的、否定的、本質的

2…物理的、形式的、印象的、將來的、劇的、リベタリアンの、近視眼的、徹底的、人類學的、世界的、民族的、積極的、非友好的、樂觀的、實質的、最終的、短期的、批判的、人口動態的、社會的、法的、本格的、實驗的、飛躍的、長期的

1…データの、ボスの、圧倒的、意識的、意図的、一般的、加速的、階級的、活動的、感傷的、觀念的、基礎的、記錄的、技術的、急進的、軍事的、繼續的、結果的、建設的、現實的、效果的、好意的、恒久的、肯定的、合法的、國際的、市民的、死活的、私的、時間的、自動的、周期的、宗教的、集中的、衝擊的、人的、政治・經濟・文化・社會的、精力的、西洋的、先進的、全域的、全國的、多民族的、地域的、中核的、中心的、中長期的、中立的、抽象的、定期的、典型的、同時並行的、政治・經濟的、發作的、拔本的、反イスラーム的、悲劇的、比較的、非好意的、表面的、物質主義的、文化的、米國的、法實的、民主的、優先的、有機的、例外的

#### E 歴史伝記

12…國際的

10…長期的

- 7…軍事的
- 6…戰略的、積極的
- 5…最終的、短期的
- 4…政治的
- 3…効果的、帝国主義的、例外的、基本的、偶発的、具体的
- 2…楽観的、死活的
- 1…意図的、学問的、記念碑的、協調的、啓蒙的、建設的、古典的、好意的、攻撃的、構造的、国家的、世界的、全般的、相互的、妥協的、対照的、段階的、地世学的、中心的、道義的、道德的、反外交的、悲劇的、必然的、保守的、歴史的

#### F 文芸活動

- 1…開明的、客観的、精神的、大阪的、定期的、物理的

#### G 医学健康

- 3…消極的
- 2…集中的、一般的、客観的、積極的
- 1…好意的、実質的、根本的、神経症的、反社会的、比較的、病的

#### H 広告（目次を除く）

- 3…政治的
- 2…基本的、具体的、世界的
- 1…悪魔的、機能主義的、共時的、劇的、古典的、構成主義的、国際的、根本的、刺激的、指導的、実証的、専門的、代表的、徹底的、範型論的、非友好的、巫術的、法的、歴史的

各専門分野ごとの「～的」の前につく語を使用度数ごとの異なり語数で整理すると表11のようになる。表11は特定の単語「～的」が頻繁に使用されるかどうかは分野によって異なることを示している。たとえば、政治では「政治的」という1語が36回使用され、「公的」は16回使用されている。社会問題では「政治的」が、歴史伝記では「国際的」が12回使用され、文化一般では「国際的」「社会的」が10回ずつ使用されている。これに対して、経済では、「経済的」が4回、医学健康では「消極的」が3回、広告では「政治的」が3回しか使用されていない。さらに文芸活動ではすべての「～的」が1回ずつしか使用されていない。このように、特定の「～的」を繰り返し何度も使用するという特色はその専門分野の性質を反映している。

表11：各分野における使用度数順異なり語数 表内の数字は異なり語数、( )内の数字は累積異なり語数%

専門分野 使用度数	A 政治	B 経済	C 文化一般	D 社会問題	E 歴史伝記	F 文芸活動	G 医学健康	H 広告
3 6	1( 0.6)							
1 6	1( 1.2)							
1 2	3( 2.3)			1( 0.9)	1( 1.9)			
1 1	2( 4.1)							
1 0	3( 5.8)		2( 1.3)		1( 3.8)			
9			1( 1.9)					
8			1( 2.5)					
7	8( 10.5)		1( 3.1)	1( 0.9)	1( 5.8)			
6	5( 13.5)		2( 4.4)	1( 2.8)	2( 9.6)			
5	5( 16.4)		3( 6.3)	4( 6.5)	2( 13.5)			
4	7( 20.5)	1( 2.9)	4( 8.8)	4( 10.2)	1( 15.4)			
3	12( 27.5)	3( 11.8)	12( 25.1)	3( 13.0)	5( 28.8)		1( 6.7)	1( 4.3)
2	32( 49.1)	9( 38.2)	22( 30.2)	24( 35.2)	13( 53.8)		4( 33.3)	3( 12.4)
1	93(100.0)	21(100.0)	99(100.0)	71(100.0)	27(100.0)	6(100.0)	10(100.0)	19(100.0)
合 計	171(100.0)	35(100.0)	159(100.0)	108(100.0)	52(100.0)	6(100.0)	15(100.0)	23(100.0)

さらにこの特徴を明らかにするために、各分野に使用度数順累積延べ語数を整理していくと表12のようになる。

表12：各分野における使用度数順累積延べ語数 表内の数字は語数、( )内の数字は%

専門分野 使用度数	A 政治	B 経済	C 文化一般	D 社会問題	E 歴史伝記	F 文芸活動	G 医学健康	H 広告
3 6	36( 7.6)							
1 6	52( 10.1)							
1 2	88( 18.6)			12( 6.4)	12( 9.8)			
1 1	110( 23.2)							
1 0	140( 29.5)		20( 7.5)		22( 17.9)			
9			29( 10.9)					
8			37( 13.9)					
7	196( 41.4)		44( 16.5)	19( 10.2)	29( 23.6)			
6	226( 46.4)		56( 21.1)	25( 13.4)	41( 33.3)			
5	251( 54.2)		71( 26.7)	45( 24.1)	51( 41.5)			
4	279( 58.4)	4( 7.7)	87( 32.7)	61( 32.7)	55( 44.7)			
3	315( 66.0)	13( 25.0)	123( 46.2)	71( 36.9)	70( 59.3)		3( 14.3)	3( 10.7)
2	379( 79.5)	31( 59.6)	167( 62.8)	119( 65.8)	96( 62.6)		11( 52.4)	9( 32.1)
1	474(100.0)	53(100.0)	266(100.0)	187(100.0)	123(100.0)	6(100.0)	21(100.0)	28(100.0)
合 計	474(100.0)	53(100.0)	266(100.0)	187(100.0)	123(100.0)	6(100.0)	21(100.0)	28(100.0)

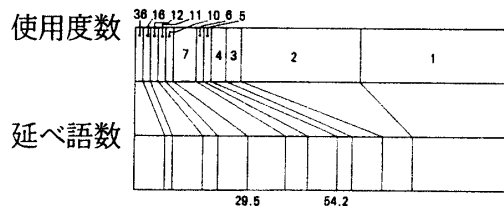
特定の語の繰り返しをもっとも多く見られた政治の分野では、「政治的」1語で、全体の7.6%を占めている。使用度数10回以上の語は異なり語数171語のうち10語あり、全体の29.5%、つまり4分の1以上を占めている。この全体の4分の1の25.0%を目安に各分野の使用度数を見ると、政治は10、歴史伝記は6、文化一般は5、社会問題は4、経済は3、医学健康、広告は2、文芸活動は1でそれぞれの分野の25.0%を超える。

また、50.0%を目安に各分野の使用度数を見ると、政治は5、歴史では3、経済、文化一般、社会問題、医学健康は2、文芸活動、広告は1である。

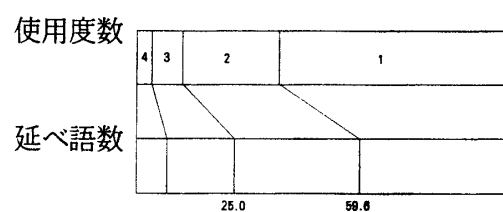
これを異なり語数との関係で見ると表13のようになる。

図1：各分野の使用度数と延べ語数との関係 上段は使用度数、下段は%

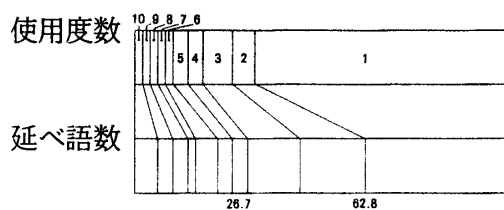
A 政治



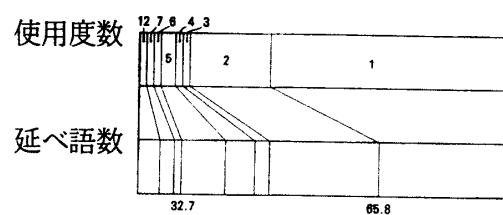
B 経済



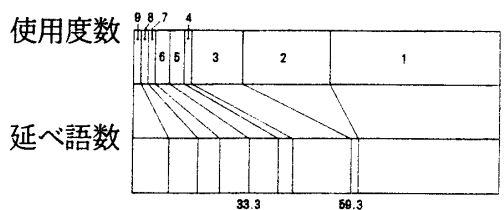
C 文化一般



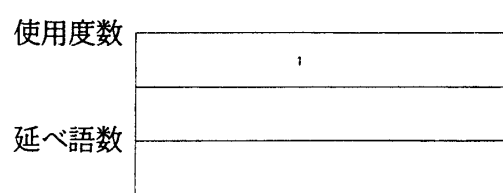
D 社会問題



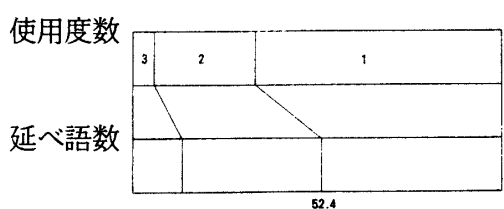
E 歴史伝記



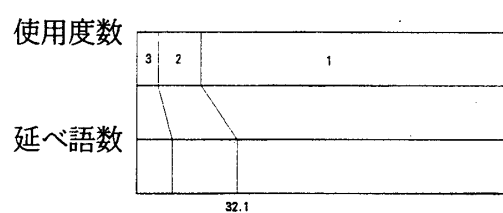
F 文芸活動



G 医学健康



H 広告



政治は上位5.8%の語で全体の25.0%以上を、上位16.4%の語をで全体の50.0%以上を占め、特定の「～的」が大きな割合を占めている。これに対して、文化一般、社会問題、歴史伝記は全体の25.0%を上位約10.0%の語が占めているが、全体の50.0%では上位約30.0%の語が使用され、政治に比べてより多くの「～的」が使用されている。経済は全体の延べ語数が少ないが社会問題と同じ傾向を持つ。医学健康は50.0%で見ると「～的」が繰り返されている。文芸活動、医学健康、広告は全体の延べ語数も少なく、「～的」の繰り返しも少ない。

したがって、上位使用語の使用度数によって各専門分野を次のように分類できる。

①延べ語数が多く特定の「～的」を集中して使用する分野

(異なり語数上位約15.0%で分野全体の延べ語数の50.0%以上を占める)

政治………政治的、公的、積極的、経済的、最終的、歴史的、長期的、国際的、効果的、  
実質的、合理的、圧倒的、軍事的、地域的、個人的、非軍事的、安定的、民  
主的、基本的、精神的、イスラム的、普遍的、全域的、伝統的、道德的、抜  
本的、批判的

②延べ語数が多く特定の「～的」をやや集中して使用する分野

(異なり語数上位約10.0%で分野全体の延べ語数の25.0%以上を占める)

文化一般…国際的、社会的、基本的、歴史的、知的、具体的、積極的、経済的、宗教的、  
本格的

社会問題…政治的、経済的、基本的、全般的、具体的、全面的、常識的、伝統的、歴史  
的、決定的、法律的

歴史伝記…国際的、長期的、軍事的、戦略的、積極的、最終的、短期的、政治的

③延べ語数は少ないが特定の「～的」を集中して使用する分野

(異なり語数上位約10.0%で分野全体の延べ語数の25.0%以上を占める)

経済………経済的、資本主義的、循環的、比較的

④使用延べ語数が少ないが特定の「～的」をやや集中して使用する分野

医学健康…消極的、集中的、一般的、客観的、積極的

⑤使用延べ語数が少なく「～的」を繰り返し使用しない分野

文芸活動、広告

また、各分野の上位約10.0%の使用語で(注2)2分野以上に共通して使用されている  
「～的」は次のように整理できる。

4分野に共通…積極的、経済的

3分野に共通…政治的、歴史的、国際的

2分野に共通…最終的、長期的、軍事的、基本的

以上のような語がより広い分野で頻繁に使用される「～的」である。

そこでさらに特徴を明らかにするためにそれぞれの分野の使用語を意味の観点から考察  
する。

1) 政治分野における「～的」

使用度数が36ともっとも高かったのは「政治的」で次のように使用され、この分野を  
もっとも反映するものとなった。

a.「…そのため天皇訪中は、にわかに政治的意味合いを濃くすることになる。…」

(『中央公論』1992年11月号:37)

b. 「…ベビーブーマーの投票行動、政治的価値観とはどのようなものなのか。…」

(『中央公論』1992年11月号：98)

全体の50.0%以上を占める使用度数5以上の語を見ると、「政治的」「経済的」「軍事的」「民主的」「非軍事的」のような政策に関係する語がよく使用されている。また、「国際的」「地域的」「全域的」「イスラム的」といった地域を表す語、「公的」「個人的」のように公私を表す語、「積極的」「批判的」のように態度を表す語、「伝統的」「道徳的」のような文化を反映する語が多く使用されており、政治という話題の特徴を反映している。

## 2) 経済分野における「～的」

経済では「経済的」「資本主義的」など「経済関係の語+的」の割合が高い。そして、「経済関係の語+的」でも他の分野では見られないような語形が出てきており、経済という分野のなかでは、経済関係の意味グループに属する語はかなり自由に造語されている。たとえば、

c. 「…これは産業界でも議論されていることですが、従来の薄利多売的なもの、シェア争  
いのなもの、あるいは…」

(『中央公論』1992年11月号：63)

d. 「…私は高度成長的なやり方よりも、持続的なインフレなき成長を…」

(『中央公論』1992年11月号：64)

このような語は、経済活動における具体的な活動・現象をそのまま語基とし「的」をつけている点で、「固有名詞+的」と同じように、「～のような」という意味で機能している。

また、「～的」は「他との比較によって云々」という意味を根底に持つ、相関関係に関する「基本的」「相対的」といった語が多い。たとえば、

e. 「…だから、基本的には下落傾向にある地価をあげては困る。…」

(『中央公論』1992年11月号：62)

f. 「…住宅や日常生活に要する製品やサービスの価格が相対的に高いからであり、…」

(『中央公論』1992年11月号：113)

といった用例があげられる。

経済の分野では「相関関係+的」「経済関係+的」が多く使用されている。

## 3) 文化一般分野の「～的」

「友好」「非友好」といった、「思考感情関係の語+的」の使用が群を抜いている。地理関係の語では「中国的」「日本的」が使用度数が6、「世界的」「国際的」が使用度数が8と、ここでも国際化時代を反映して多く使用されている。また「基本的」「本質的」といった他との関係で定義されるような相関関係の語の使用も多い。

それに対して、学問・主義主張に関係する「抽象思考関係の語+的」の使用は、政治・経済・歴史伝記・社会問題と異なり、使用度数が低い。さらに

- g. 「植村さんの心の中にも僕と同じコンプレックスがありましたね。彼はそれをポジティブなエネルギーにしようと必死だった。」

(『中央公論』1992年11月号：210)

のように、「積極的」という言葉に変わって「ポジティブ」という外来語が使われている。昨今、「アクティブ」とか「ネガティブ」というような言葉を「～的」に変わって会話のなかで使用しているのを耳にすることがある。このような現象には外来語の使用がふえているのと同じように「～的」よりもカタカナで表現するほうが語に対する感性がある、うまく意図が伝わる、かっこいいという使用者の感性が反映しているように思われる。

以上、「思考感情関係の語+的」の使用が多く見られる反面、学問・主義主張に関係する「抽象思考関係の語+的」の使用は低い。そして「～的」というよりもむしろ「ポジティブ」と原語そのままの表現を採用する傾向が見られる。

#### 4) 社会問題分野の「～的」

「一般的」「全般的」「全面的」「徹底的」のような「程度を表す語+的」の使用が目立って高い。たとえば、

- h. 「…ペローがワシントンの議会を徹底的に批判し、反対することによって得点を稼いだように…」

(『中央公論』1992年11月号：105)

- i. 「…自分のことという特定の問題が、考えるといつのまにか“女”という一般的な問題になって、女という広がりのあることがいつのまにか“自分の問題”という閉じたところに行っちゃって…」

(『中央公論』1992年11月号：249)

- j. 「…これに該当する約六十万世帯は、煮炊きを全面的に諦めることになる。…」

(『中央公論』1992年11月号：305)

といった具合にである。

また、「保護主義的」「物質主義的」「人類学的」といった頭のなかでまとめあげられていく概念のような抽象的思考に関する語が結婚問題、国際問題という話題のなかでかなり出てくるとも特徴のひとつとなろう。使用度数の高いものの分布の仕方は文化一般とよく似ている。

以上のことから、「一般的」「全般的」「全面的」「徹底的」のような「程度を表す語+的」は多く使用されており社会問題分野を特徴づけているということが出来る。



#### 5) 歴史伝記分野の「～的」

使用度数が高かったのは、「最終的」「一時的」「長期的」「短期的」といった時間関係の語である。これは、この記事の分野が時間と密接にかかわっている歴史伝記関係であるということだけではなく、記事の内容もアメリカの外交政策を取り扱っていて、どのようなヴィジョンを持ったかという説明が求められる内容で、そこに「長期的」「短期的」という語が使用されるようになってきていることによる。「政治的」「経済的」という政策に関する語、「基本的」「具体的」といった相関関係に関する語、「全般的」「全面的」のように「数量などで程度を表す語+的」はよく使用されているのに対して「積極的」「消極的」のような態度を表す語はあまり使用されていない。

#### 6) 文芸活動分野の「～的」

これも、母集団の小さい分野で、延べ語数と異なり語数が同数で、どの「～的」も繰り返して使われておらず、これが文芸活動の特徴を反映していると思われる。「大阪的」という地理関係の語、「開明的」という性質状態描写の語、「定期的」という時間関係、「客観的」という思考感情関係の語など少数でバラついている。

#### 7) 医学健康分野の「～的」

この分野も母集団が非常に小さい。その中でも「消極的」が使用度数3、「一般的」「客観的」「集中的」「消極的」が使用度数2で、この5語でこの分野の延べ語数の約50%を占めている。

他の分野ではあらわれにくかった「病気関係の語+的」というものがあるのが特徴としてあげられる。とくに生死にかかわる語で「病的」「神経症的」という語である。

#### 8) 広告分野の「～的」

『中央公論』に載せられた広告というのは、書籍に関するものがほとんどで、時計・ホテル・航空会社・車に関するものがなく、内容的にほとんど文化一般と共通する。使用度数を見ると、「政治的」「世界的」「具体的」が2回の他はすべて1回であり、特定の語が集中して使用されているということは言えない。

以上から、専門分野は「～的」の語基の意味範囲より次のように特徴づけることができる。

政治…「政治的」「経済的」「軍事的」のような政治関係の語

「国際的」「地域的」「全域的」「イスラム的」といった地域を表す語

「公的」「個人的」のように公私を表す語

「積極的」「批判的」のように態度を表す語

「伝統的」「道徳的」のような文化を反映する語  
 経済……「経済的」「薄利多売的」「高度経済成長的」のような経済関係の語「基本的」「相対的」のような相関関係の語  
 文化一般…「友好的」「非友好的」といった思考感情関係の語  
 「中国的」「日本的」「世界的」「国際的」といった地理関係の語  
 「基本的」「本質的」といった相関関係の語  
 社会問題…「一般的」「全般的」「全面的」のような程度を表す語  
 「保護主義的」「物質主義的」といった抽象的思考関係の語  
 歴史伝記…「最終的」「一時的」「長期的」「短期的」といった時関係の語  
 医学健康、文芸活動、広告…使用度数が低く、特徴づけが難しい

## 6 まとめ

本稿では、1冊の雑誌を取り上げてそこで使用されている「～的」という語をすべて取出し分析した。その結果以下のことが明らかになった。

- ①計量的に見ると、歴史伝記、政治の分野で「～的」が頻繁に使用され、文芸活動、広告では「～的」はあまり使用されない。つまり掲載記事の専門分野と「～的」の使用語数とに関連がある。
- ②語種で見ると、「～的」の前につく語では漢語が圧倒的に多い。なお、漢語以外について政治では和語（「接ぎ木」）、外来語（「アジア」「イデオロギー」など）、混種語（「ヤミ献金」「イスラム主義」など）、社会問題では外来語（「データ」「ボス」など）、混種語（「反イスラーム」）とさまざまな語種が使用される。また、文芸活動では和語（「大阪」）が使用されているが、歴史伝記、医学健康、広告などでは漢語のみが使用されており、使用される語種もまた専門分野と関連がある。
- ③表記で見ると、「～的」の前につく語は漢字がもっとも多く、漢語はすべて漢字、和語はすべて漢字または「漢字＋ひらがな」になる。外来語はすべてカタカナで表記される。
- ④語別の使用度数で見ると、特定の語が繰り返し使用されるという特徴は政治の分野に顕著で、以下、文化一般、歴史伝記、社会問題、経済の順になる。
- ⑤意味で見ると、政治では「政策に関する語＋的」、経済では「経済関係の語＋的」などのように、「～的」の意味もまた各専門分野の特徴を反映している。

## 注

- 1) 山田氏の述べている現在の用法とは、山田文法に従うとすべて副詞であり、橋本文法に従うと「比較的」のみが副詞で、他は形容動詞ということになる。

2) 各分野の上位約10%とは、表11に基き、政治では使用度数 7 の10.5%、経済では使用度数 3 の11.8%、文化一般では使用度数 4 の8.8%まで、社会問題も使用度数 4 の10.2%、歴史伝記は使用度数 6 の9.6%まで、医学健康は使用度数 3 の6.7%、広告は使用度数 3 の10.7%までのことである。

#### 参考文献

- 磯辺 弥一郎 (1906.10) 「国文における英語の感化」『文章世界』明治新聞雑誌文庫蔵  
国立国語研究所 (1957) 『現代語の語彙調査 総合雑誌の用語 前編』秀英出版  
国立国語研究所 (1981) 『分類語彙表』 秀英出版  
国立国語研究所 (1987) 『雑誌用語の変遷』 国立国語研究所  
飛田 良文 (1982) 「現代語彙の概説」『講座日本語の語彙 現代の語彙』明治書院  
藤居 信雄 (1957) 「的ということば」『言語生活』71号 筑摩書房  
藤居 信雄 (1961) 「的の意味」『言語生活』119号 筑摩書房  
山田 巖 (1961) 「発生期における的ということば」『言語生活』120号 筑摩書房

#### 付記

最後にこのテーマを与えてくださり、細かくご指導くださった飛田良文先生に感謝の意を表します。